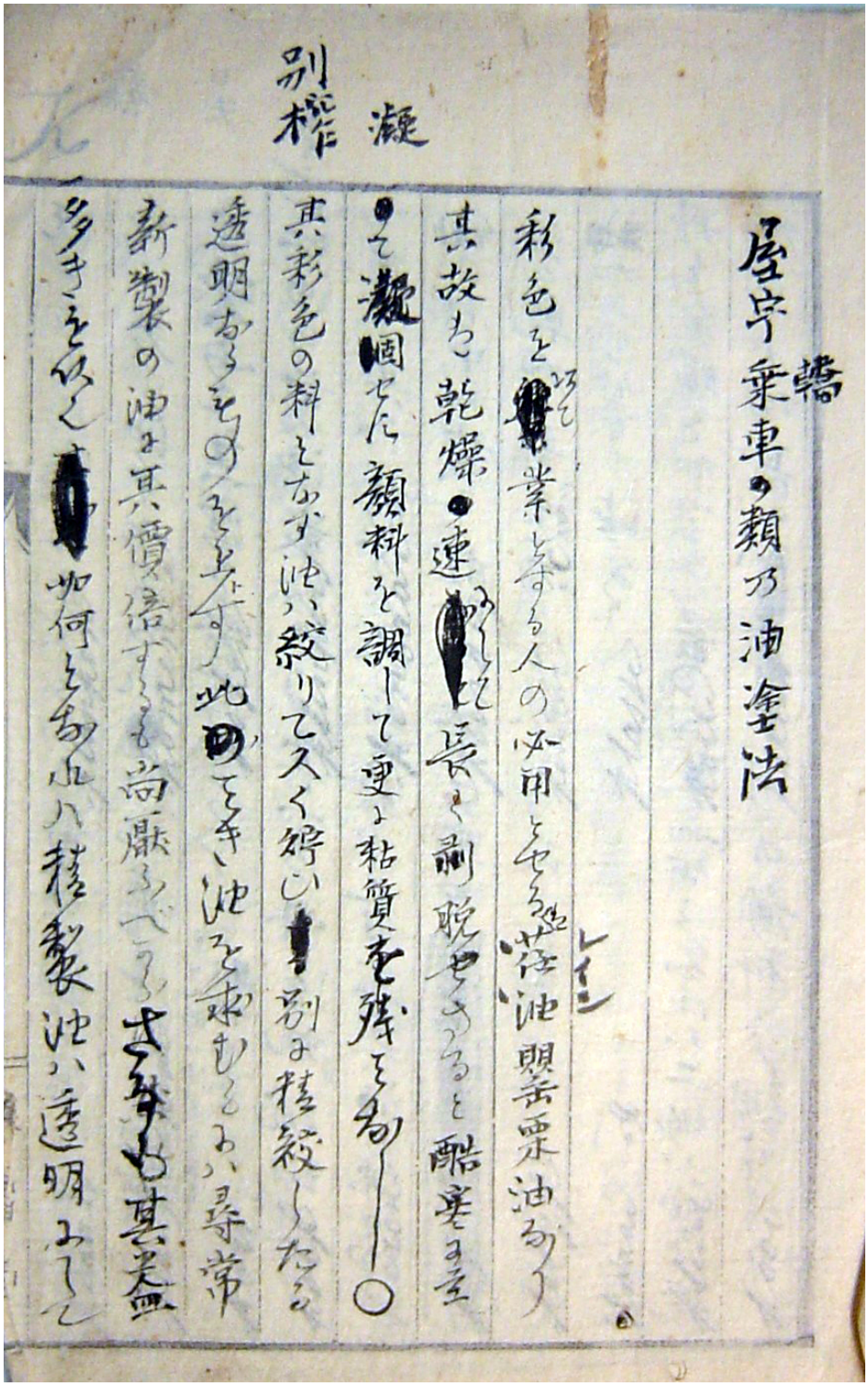
参考資料２「屋宇轎車類乃油塗法」



別樣 凝

屋宇轎車類乃油塗法

彩色を[illegible]業とする人の必用とする荏油桐油栗油乃
其故も乾燥速[illegible]して長く剥脱せざると酷寒暑
て凝固せた顔料を調して更に粘質を残さ[illegible]
其彩色の料とする油は絞りて久く貯ひ[illegible]別に精絞したる
透明なるものを上とす此[illegible]て清き油を求むるは尋常
新製の油は其價倍すると雖も尚厭ふべ[illegible]
多きを以て[illegible]如何とも為し難し精製油は透明なる

参考資料.２-１

熬

○失

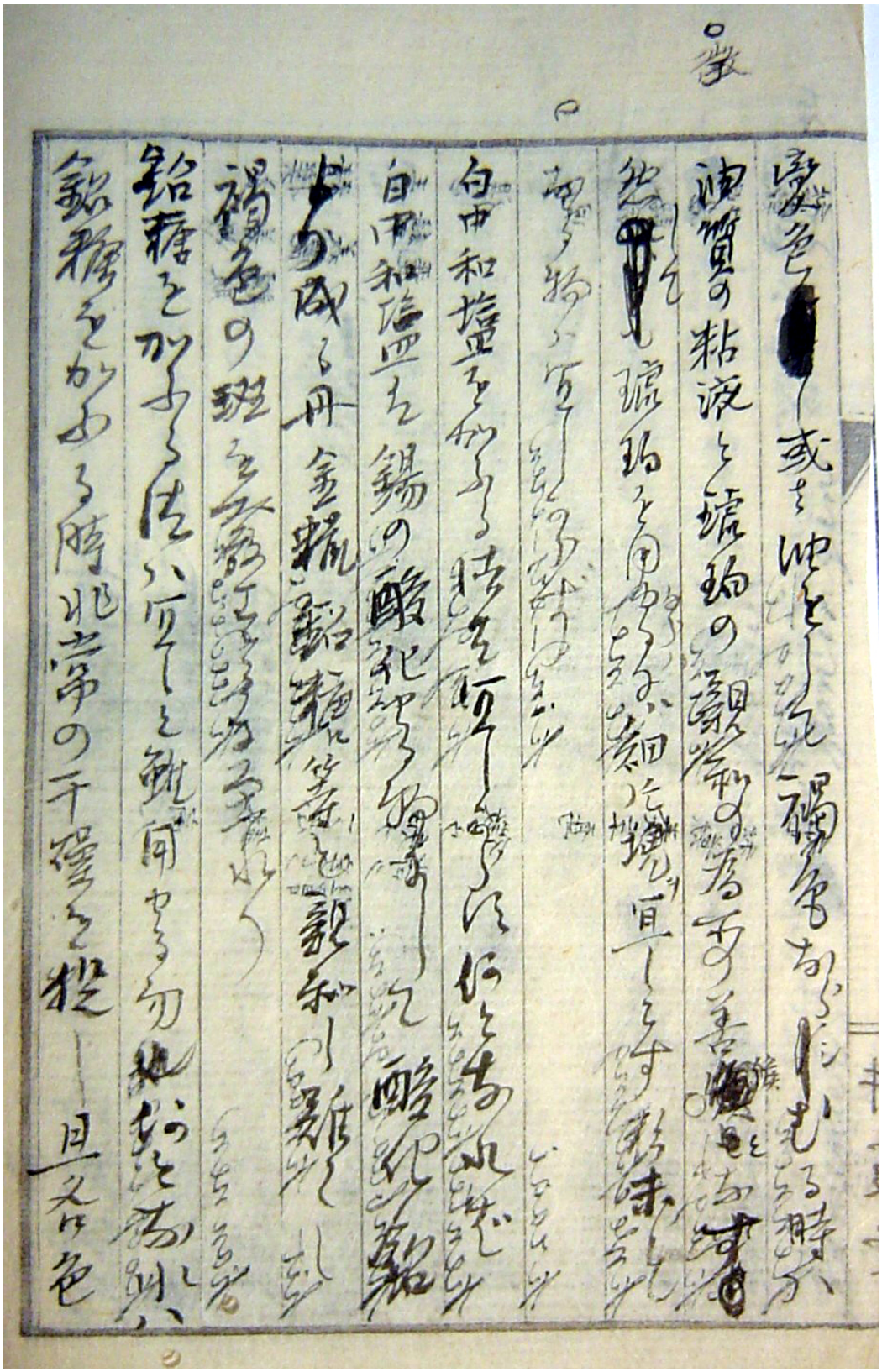
レイン

説ゝ多分の水分を失ふ故に煎熬の時ゝ富て便宜
あり一若し油中水分あれハ沸騰を起す故煎熬の
度を焦深を発生する故ゝ（焦ケル時ハ油黒色ヲ帯ブ又黏稠ヲ生ズルモノナリ）
茶油の煎法數分あり然ハ一ハ丹金蝋琥珀混合
して煎一其二ハ前方の鉛粉を加ふる有其三油の沸湯の
後ゝ白中和鹽を投ぜ沸騰後又其四［redacted］
油の乾燥甚速なるを欲せ故ゝ鉛糖（サルエム、サヒエル三ツ）
を加ふる等の法あり
丹ゝ金蝋を加ふると最も［redacted］如何ゝあれハ二物ハ油を乾
燥せるの功甚多く［redacted］何の顔料ゝ調ふ

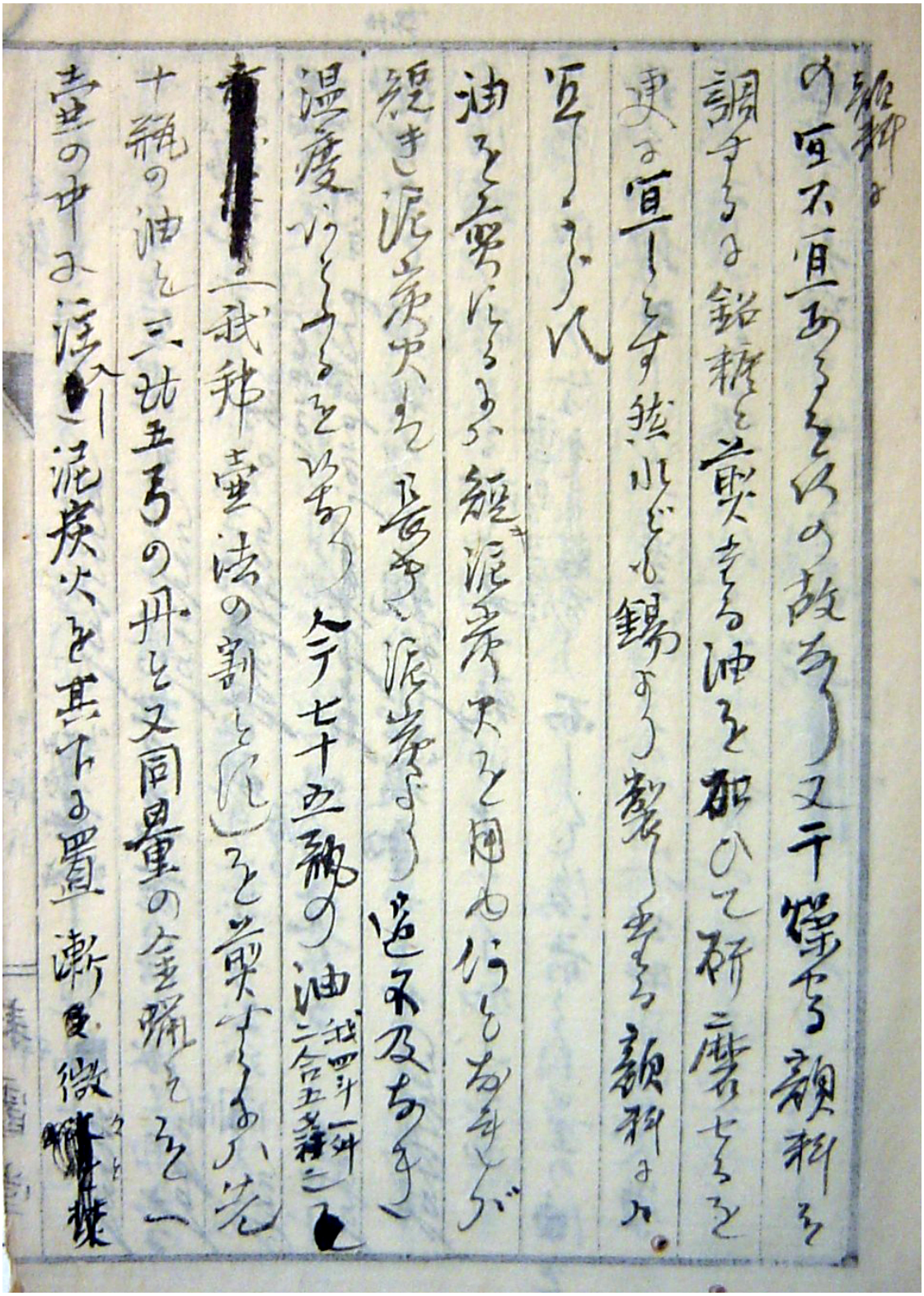
参考資料.2-2

害あるなり各色の顔料ハ金屬の溶解物を
以てする又丹及金箔溶化[illegible]ある故に親和力強
を確實なり又白中和鹽[illegible]を加ふる法あり白中
和鹽ハ種の金屬なり[illegible]錫ハ鉄分[illegible]
[illegible]帯する物なり故に各種の溶化金屬を親和[illegible]
[illegible]何故彩色を[illegible]常人[illegible]解[illegible]
故を深思の理を知[illegible]
琥珀加ふる法各色の顔料[illegible]害ある故
[illegible]宜しからず琥珀の殺人[illegible]
[illegible]云ふ諺の[illegible]

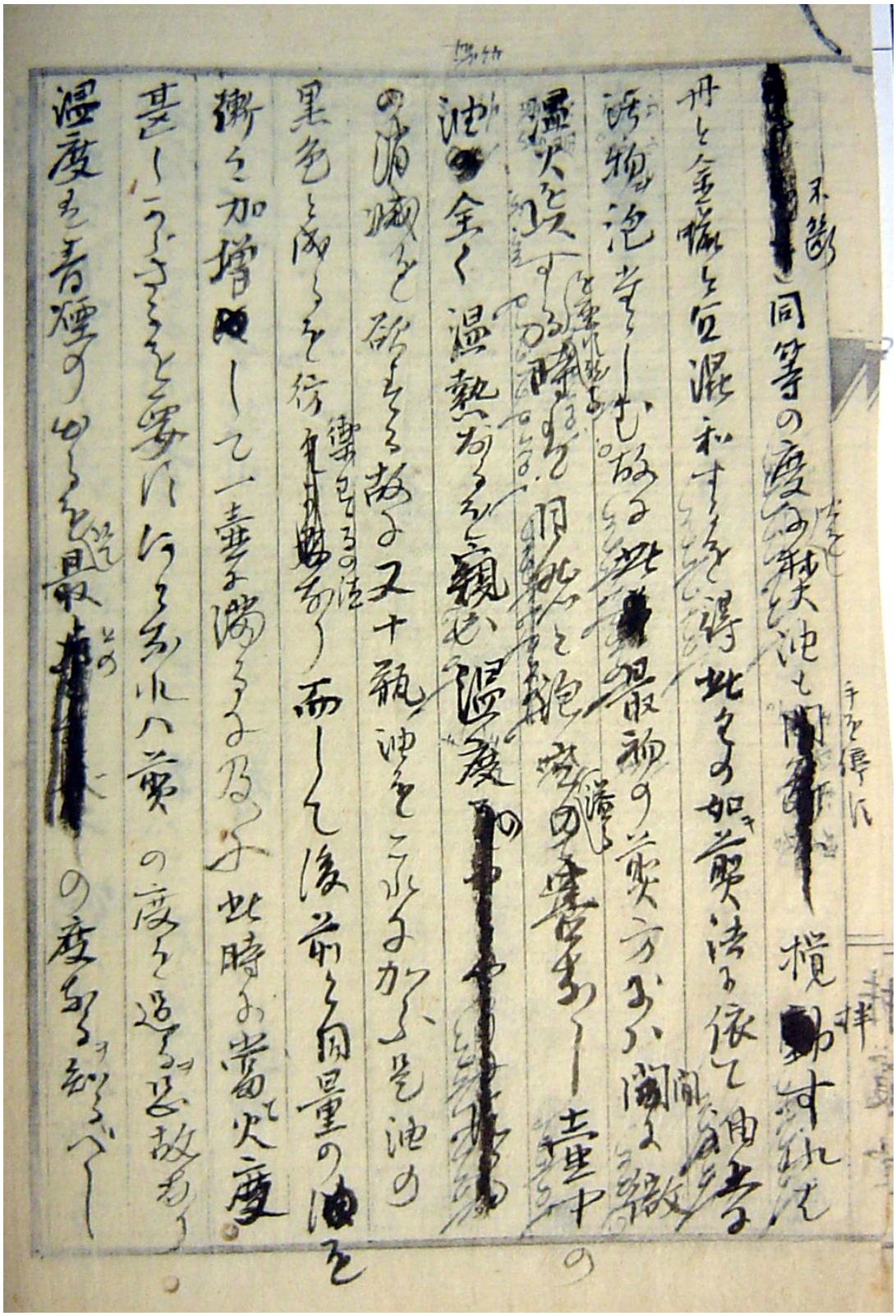
参考資料.2-3



参考資料.2-4

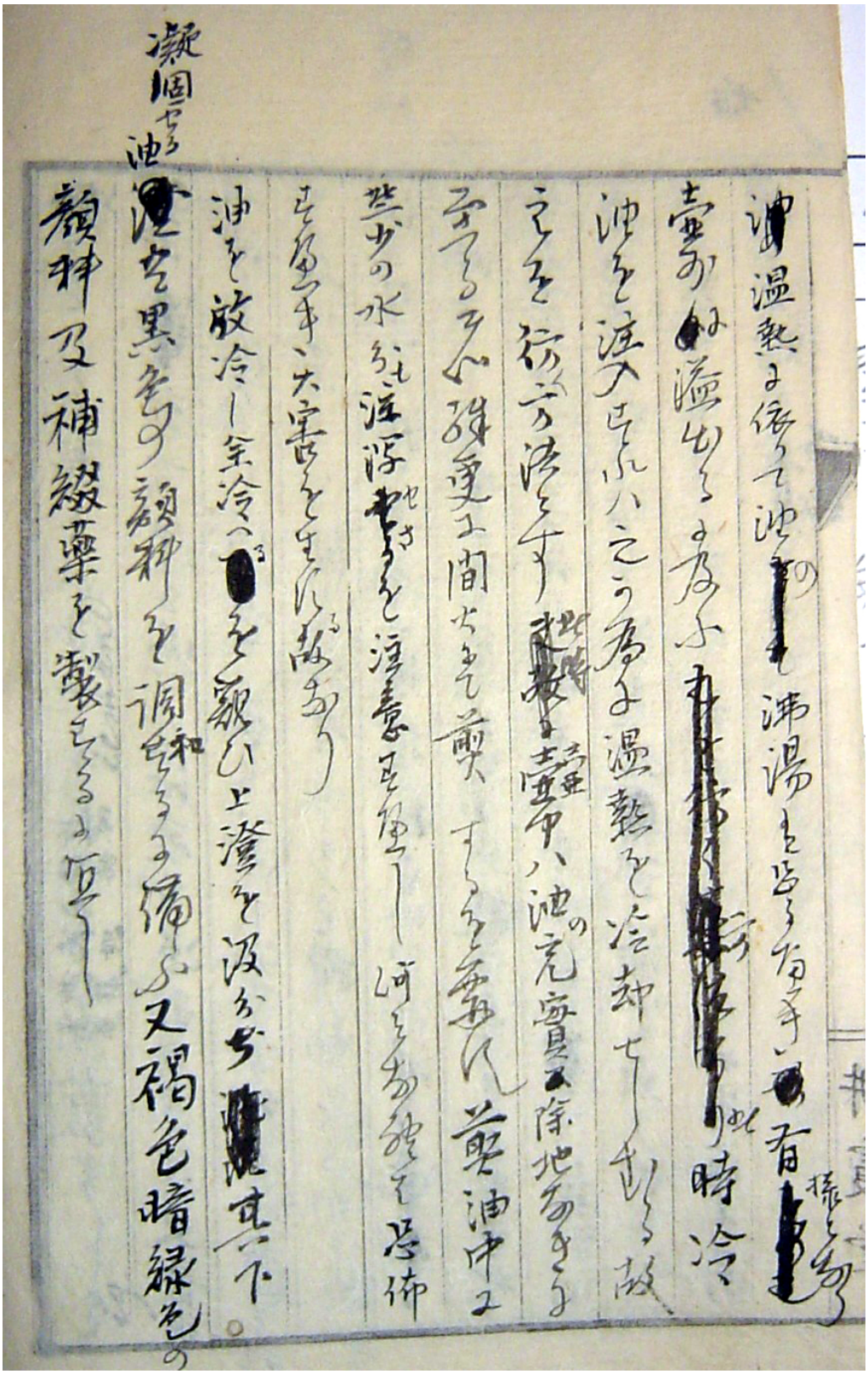


参考資料.2-5

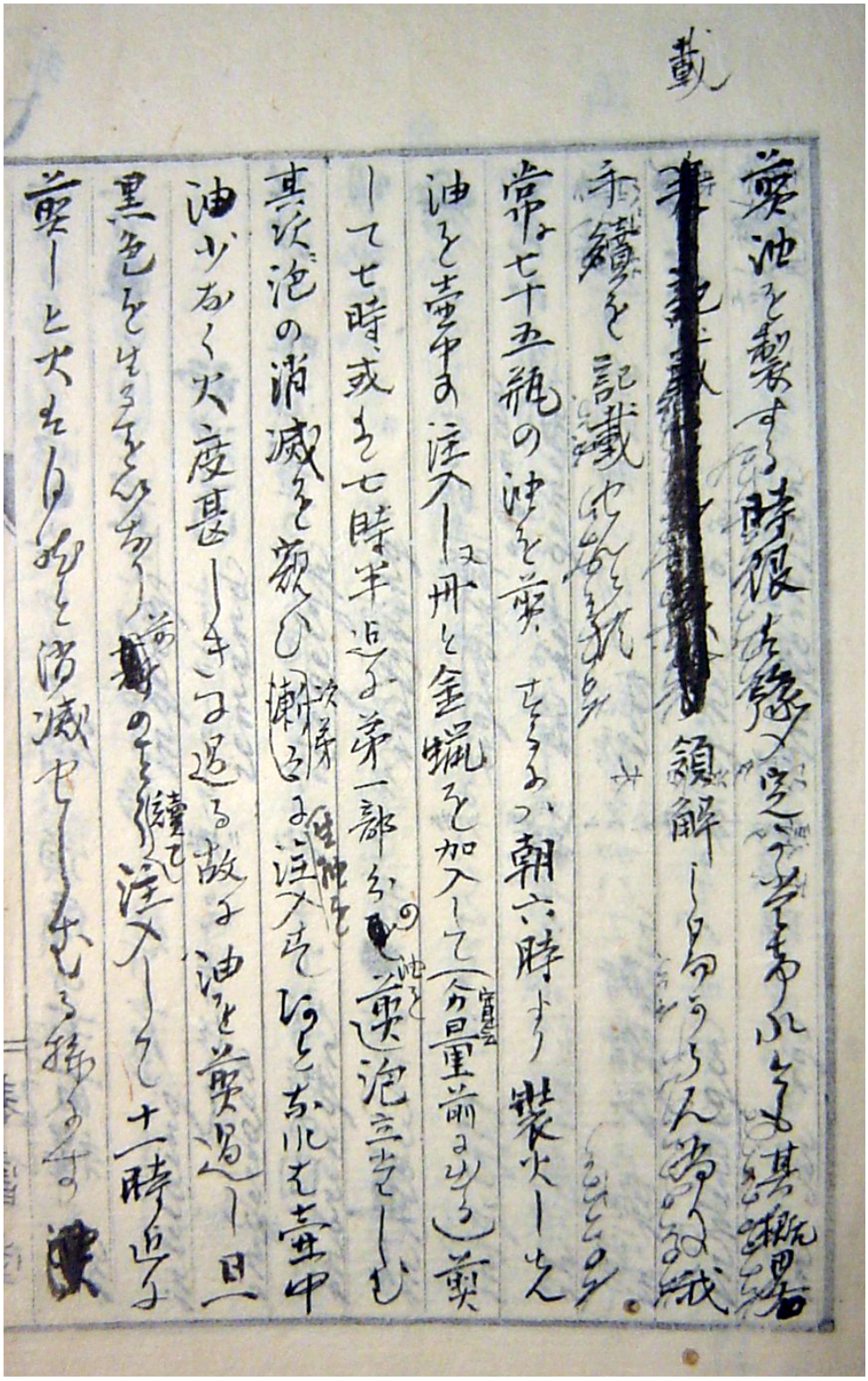


参考資料.2-6

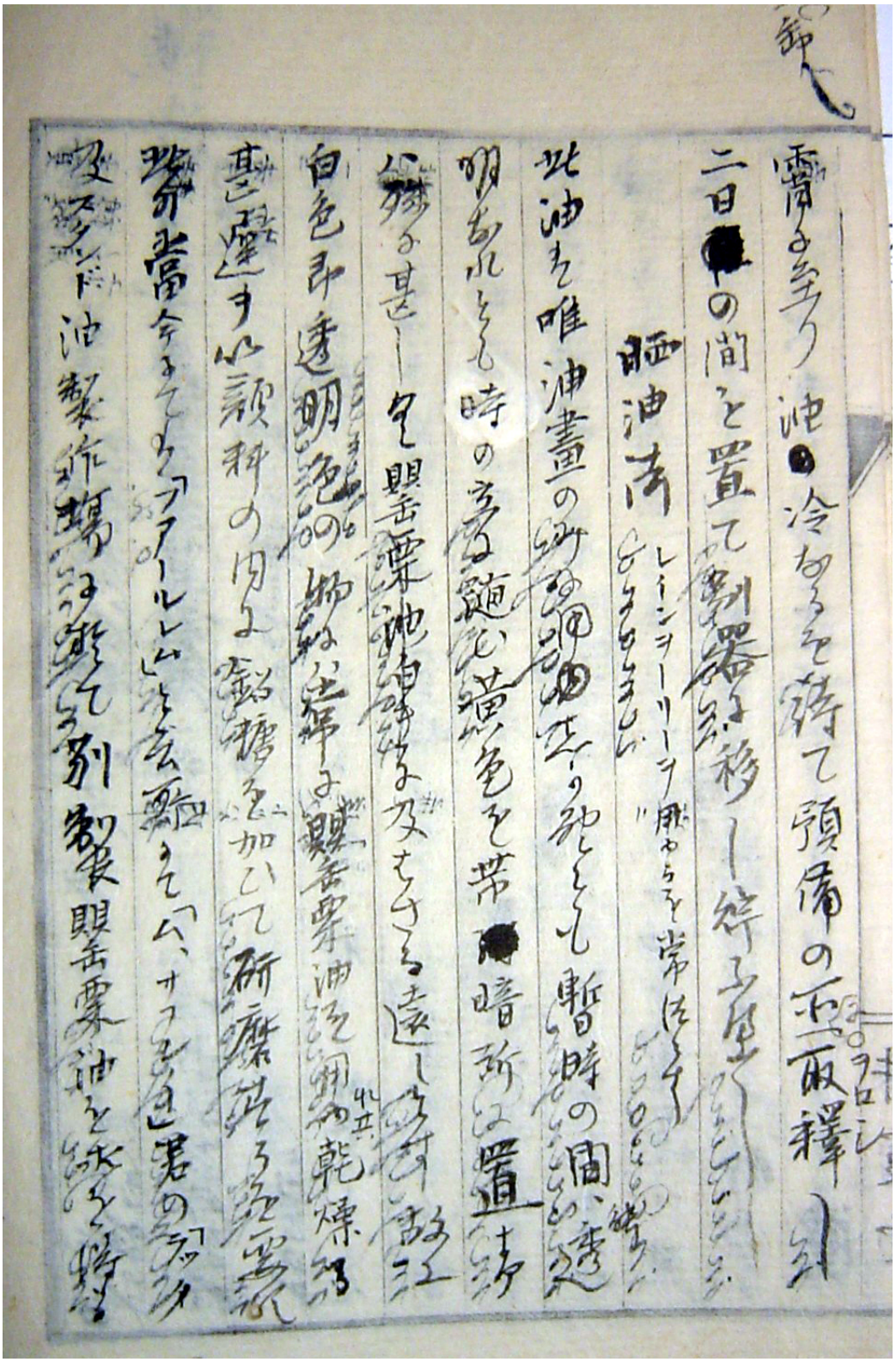
参考資料.2-7



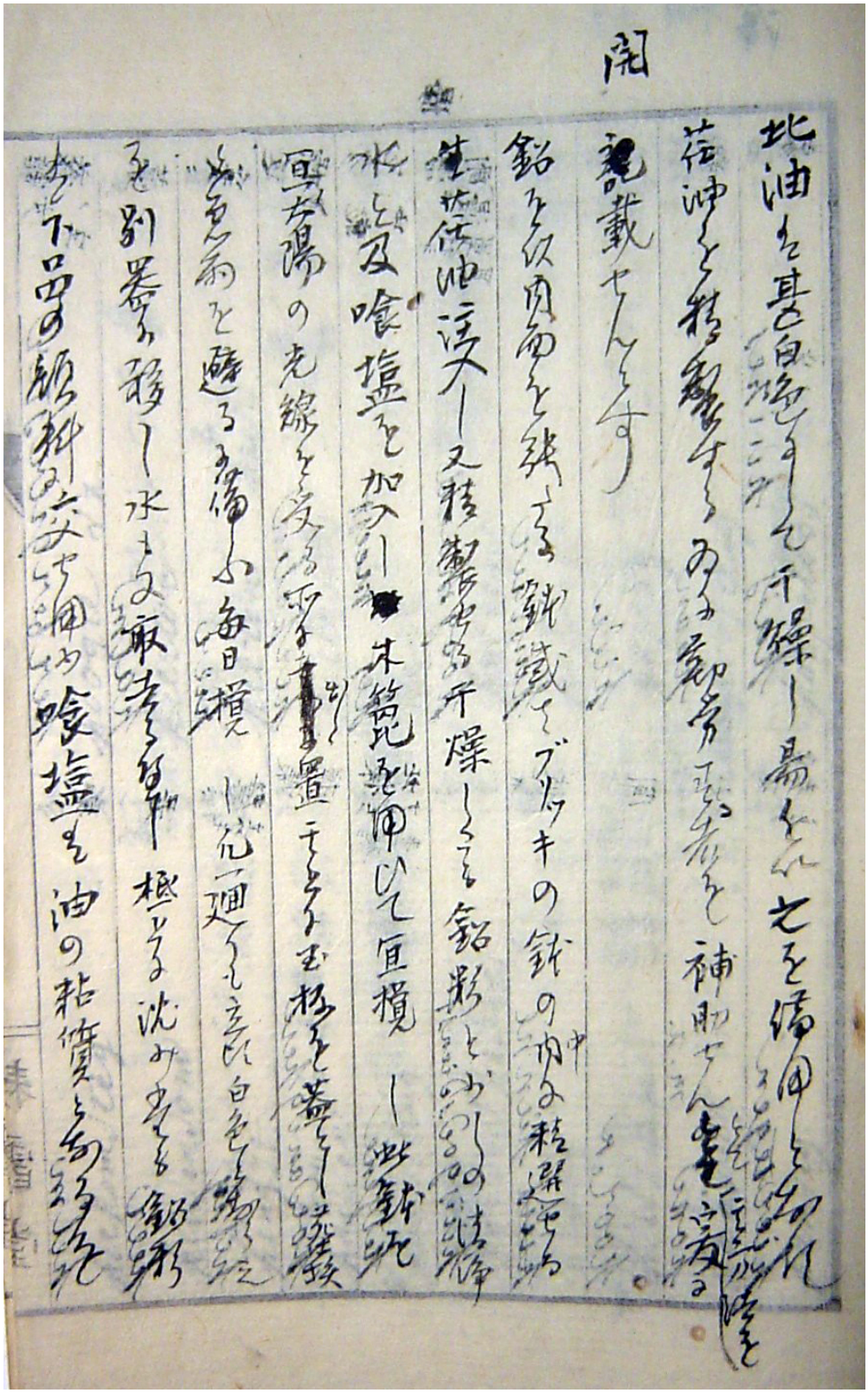
参考資料.2-8



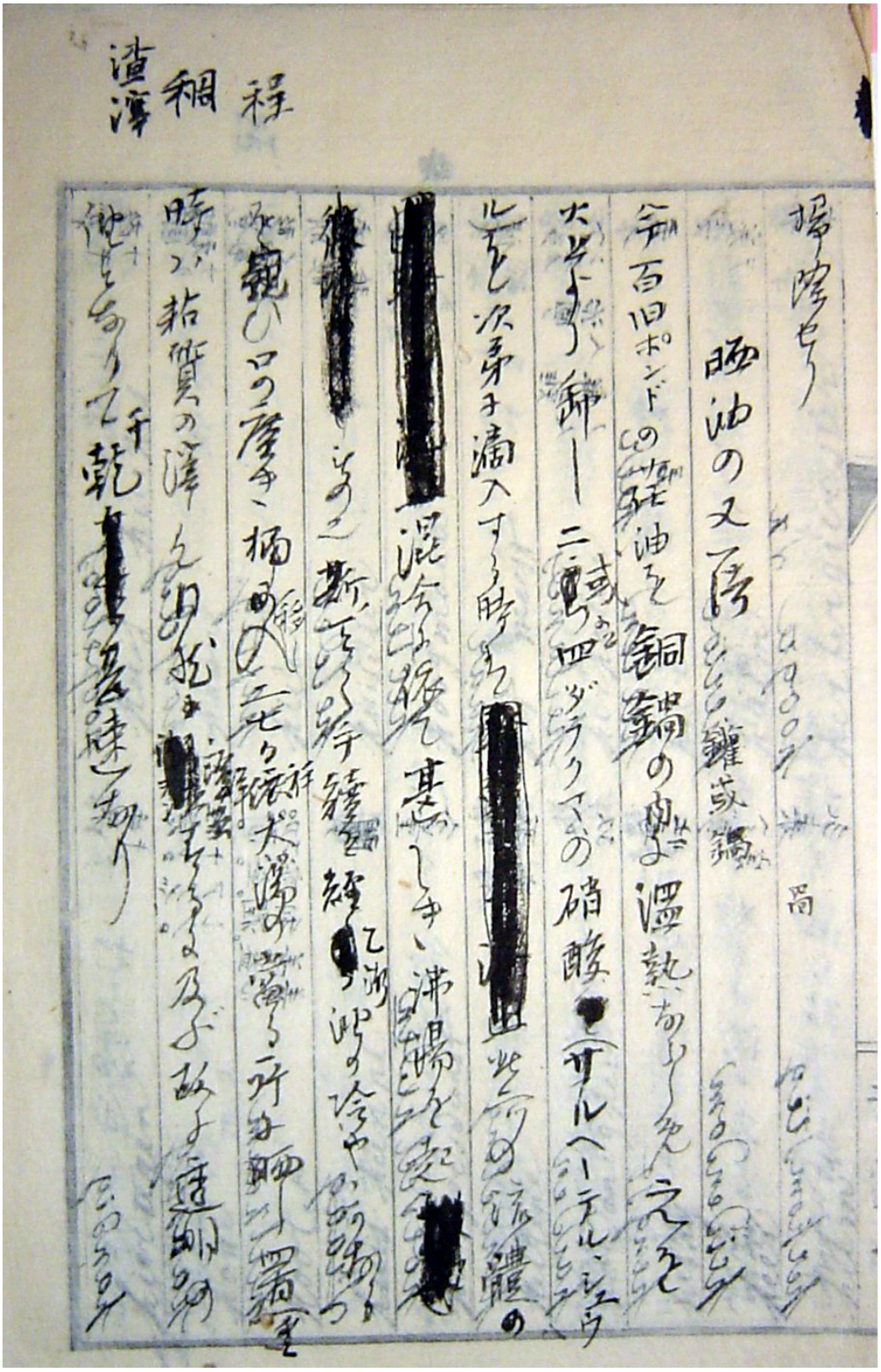
参考資料.2-9



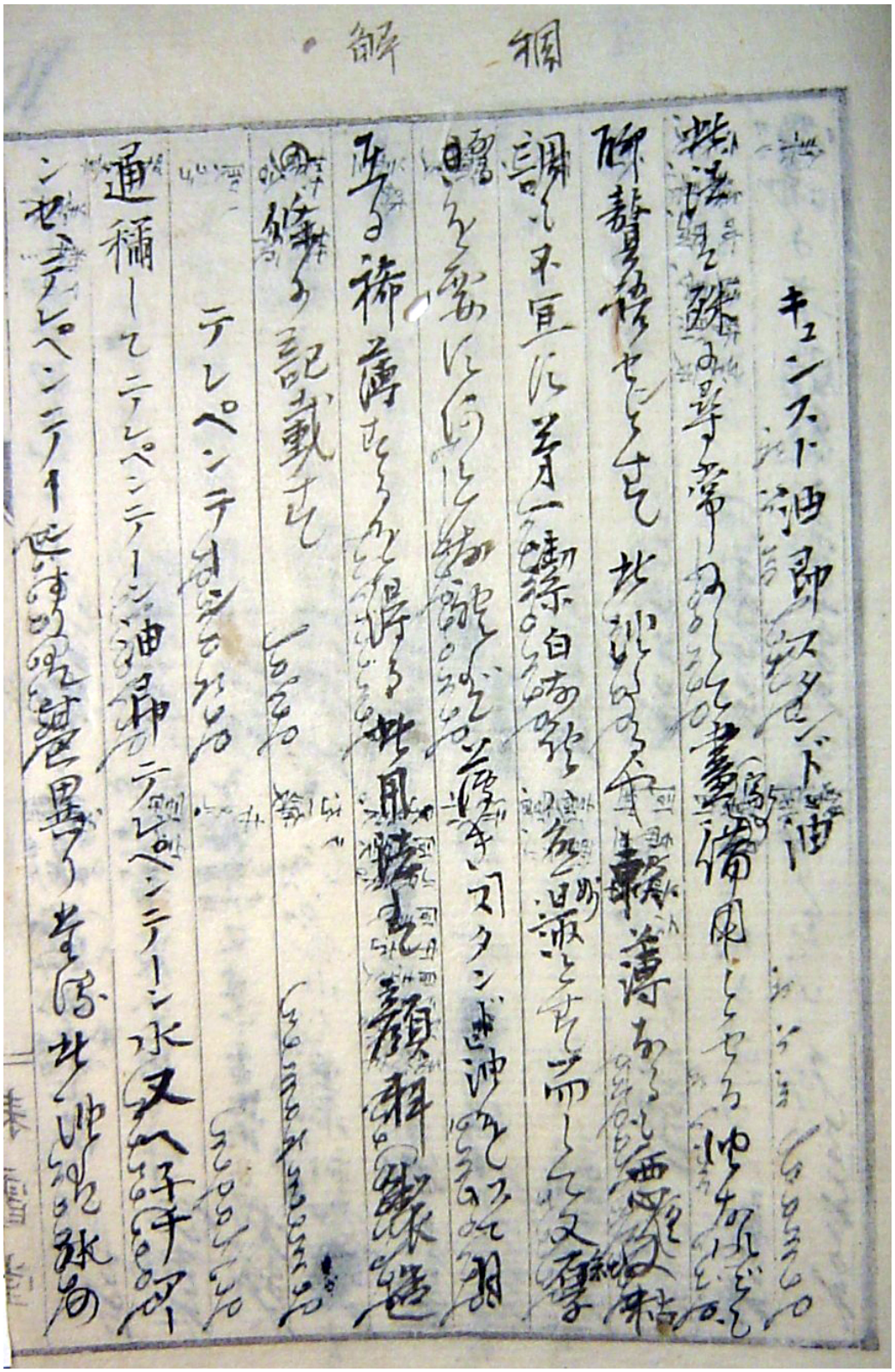
参考資料. 2-10



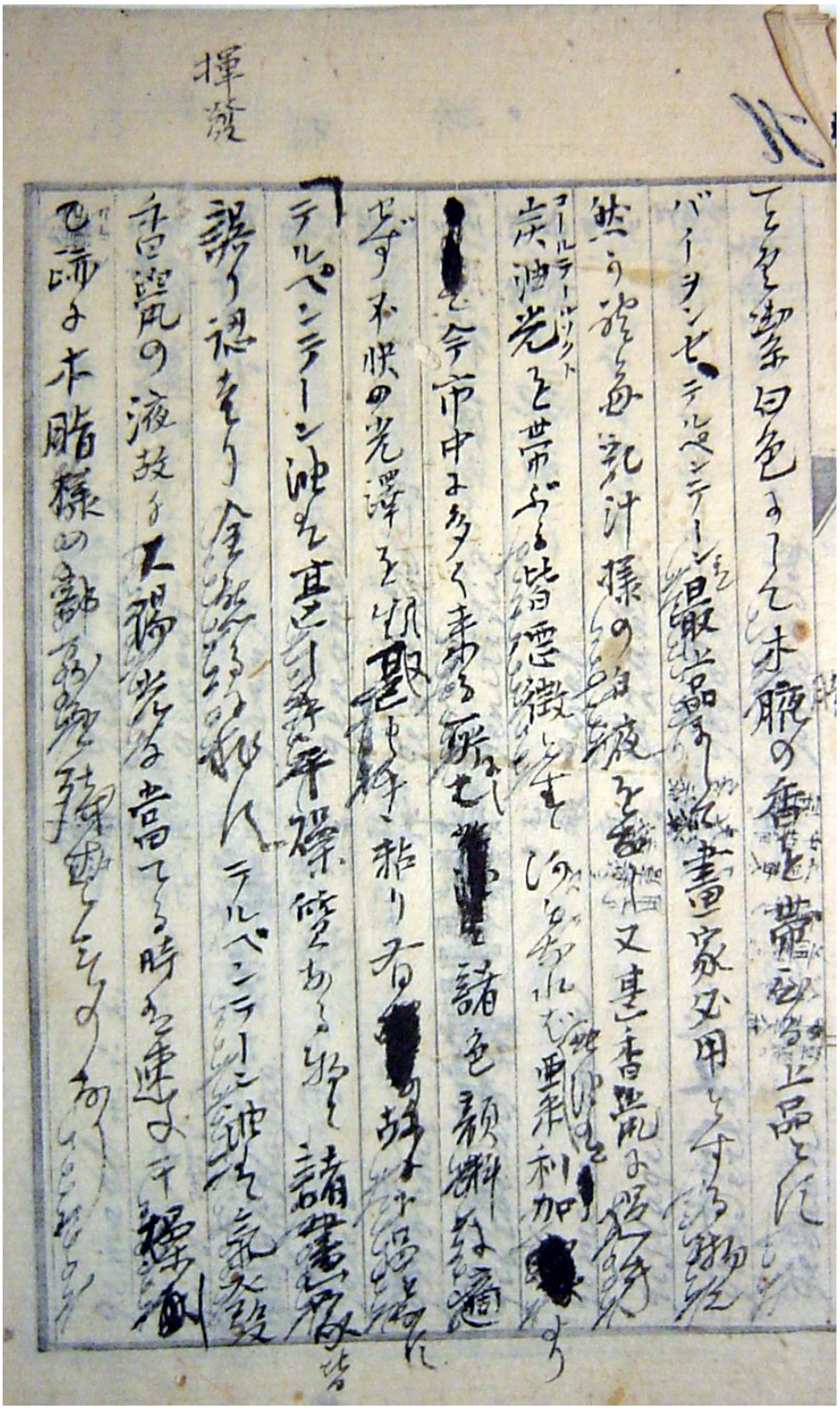
参考資料.２-11



参考資料.２-12



参考資料.2-13



参考資料.2-14